

令和 6 年 12 月 16 日

意見発表

◆おだ幸子委員

産業労働常任委員会に付託されました諸議案及び一般事項に対しまして、公明党県議団として、意見、要望をさせていただきます。

初めに、中小企業支援についてですが、当委員会において、令和 6 年度における主な中小企業支援施策について報告を頂き、我が会派からは、支援者側の視点から質問をさせていただきました。前回の委員会でも申し上げましたが、申請者や支援者が申請しやすい仕組みをつくることをもっと重視していただきたいと考えます。例えば、交付率が低ければ、実施要領が分かりにくくないかなどの振り返りが必要です。また、中小企業支援は、補助金を支給して終わりではありません。好取組や多くの情報を共有して、ほかの企業に参考にしてもらうなどの視点が、他県に比べてまだ足りないように思います。限られた人員で多くの業務を行うことは大変であると認識していますが、経営者や支援者の時間を無駄にしないことも、生産性向上の一つです。発信する側の責任として、受け手の側に立った制度設計や運営を重ねてをお願いします。

次に、神奈川県立かながわ労働プラザについて。コロナ禍によって、オンライン会議が広く使われるようになり、会議室に対するニーズも変わってきています。今までのやり方をよしとするのではなく、県の財産の価値には利用料だけでなく利用者満足も含まれますが、最大限に引き出していく取組をお願いいたします。これは、かながわ労働プラザに限ったことではありません。指定管理者に任せ切ってしまうのではなく、指定期間中であっても、需要に合った適切な助言等を積極的に行うようお願いいたします。

以上、当常任委員会に付託された諸議案に賛成を表明して、意見発表とします。